

HONDA 中山 顕選手 白岡市長表敬訪問



白岡市長  
藤井 栄一郎



HONDA  
中山 顕選手



14分58秒というタイムを出せたのは1年生の11月でした。そこで、ようやく正式部員となれ、3年生の時に箱根駅伝で3区を、4年生の時は1区を走らせてもらえました。藤井…箱根駅伝の時は2位だったということ。中山…1秒差で2位でした。昨日も2位だったので、詰めが甘いですね。藤井…大学に入学してから特に成長されたと思います。中山…さまざまなかたとの出会いやタイミング、周りの環境に恵まれていたので成長できました。藤井…練習は毎日していますか。中山…毎日走っています。少ない日は25km、多い日は50km走っています。



藤井…一日のスケジュールは。中山…午前5時50分から午前7時頃まで練習をして、午前8時に出社をしています。午後2時まで仕事をし、その後、練習という毎日です。藤井…練習グラウンドはどこですか。中山…狭山市です。藤井…白岡市でも練習をしますか。中山…帰省した時に総合運動公園で走っています。藤井…食事や健康管理はどうしていますか。中山…大学時代からお世話になっていてかたにメンタルトレーナーをお願いしています。また、チームの管理栄養士やトレーナーにも支えてもらっています。

2月14日(月)白岡市出身でHONDA所属の中山 顕選手が白岡市長を表敬訪問しました。前日の13日(日)には山口県で行われた第50回全日本実業団ハーフマラソン大会に参加して2位の好成績を収めた中山選手。レース直後の貴重な話を交えた市長との対談を紹介します。



中山 顕 (なかやま けん)  
生年月日: 1997年2月24日  
出身地: 白岡市  
出身校: 白岡市立白岡東小学校  
白岡市立篠津中学校  
埼玉県立伊奈学園総合高等学校  
中央大学  
ベストタイム  
5,000m : 13分53秒07  
10,000m : 28分09秒92  
ハーフマラソン: 1時間00分38秒

藤井…昨日のレースはいかがでしたか。中山…いつものレースはあまり集団にならないのですが、昨日は集団が続いていたので焦りがありました。15km過ぎからきつくなりフォームもブレブレでしたが、最後の1kmぐらいからペースを上げました。最後は無理やり体を動かしました。藤井…昨日のタイムは1時間38秒で2位、1、3位の選手が同じタイムだったということ。中山…そうです。藤井…ハーフマラソンの日本記録は。中山…60分ちようどです。昨日の記録は日本歴代8位の記録でした。藤井…1000mを17秒ぐらい

で走っていることになりましたね。私は学生の頃野球をやっていたので1km走るのに3分20秒ぐらいでした。中山…速いですね。藤井…ピッチャーをやっていたので頑張っていました。野球部なのに毎日13、15km走っていました。中山…陸上部みたいですね。藤井…レース中は何を考えていますか。中山…周りの選手の体のブレ、息遣いを意識しています。アップダウンのあるコースは足を使わないようにしています。また、この選手はスパイクが強いとか、対戦した選手のことを考えています。中山…高校1年生です。それ

までは白岡市のサッカーチームに所属していました。サッカーでも走ることが多いポジションでしたので長距離に自信があり、陸上にも挑戦をたくさん始めました。大学には箱根駅伝を目指すために入学しました。藤井…大学は中央大学に入学されたということですが。中山…大学の入学に関してはスポーツ推薦の声はどこからも掛からなかったため、指定校推薦で入学しました。陸上部には直談判して参加させてもらいました。藤井…大学では5,000mを15分切らないと部員になれないと聞きました。中山…そうです。大学に入学した当初はよくけがをして、レースに出られなかったです。

ています。自分だけでは分からないことがありますので、第三者の意見を試していく中で、自分に合ったことを見つけています。藤井…大きなけがはしますか。中山…疲労骨折をすることが多いです。故障しやすいタイプで、実業団の1、2年目はずっと故障していました。今は、8か月ぐらいけがをしていないので、昨日のハーフマラソンの結果につながりました。藤井…体調管理が一番難しいですか。中山…難しいですね。心と体の両方を大会に合わせないといけない。気持ちが入っても体ができてないと故障につながります。逆もそうです。心身のバランスを考えながら取り組んでいくのがたいせつだと考えています。藤井…中山選手は、素直ですね。なんでも受け入れられる。中山…実績がなかったこと、弱いからこそいろいろな人から学んで吸収してきました。陸上を経験していない人からの意見も取り入れています。それは昔も今も変わらず意識しているところです。藤井…こだわりはありますか。中山…積み重ね、やり続ける



(左から)長島教育長、中山選手、藤井市長、野口副市長

ことです。苦しい、嫌だなと思う時これだけはやるという意思を持っています。今までやってきたことを放棄してしまうのは嫌です。藤井…白岡の良いところはどこですか。中山…自然が豊かで梨がおいしいです。久しぶりに帰ってくると落ち着き、休める場所です。藤井…おかげさまで白岡市の人口が増えています。また、今年には市制10周年を迎えます。白岡駅と新白岡駅の2つの駅が

あり、住みやすい、緑豊かなところが魅力的だと思います。少子高齢化の中で人口が増えるのはとてもうれしいことです。中山選手が活躍し、白岡市がさらに盛り上がると思います。中山選手には世界に羽ばたいていただきたいです。中山…まずは日本代表に選ばれるようがんばります。

問合せ 秘書広報課 広報魅力発信担当  
☎0480(92)1111  
内線394